事業区分：ダム、直轄事業　　施策分類：統合のメリット・事業間の連携

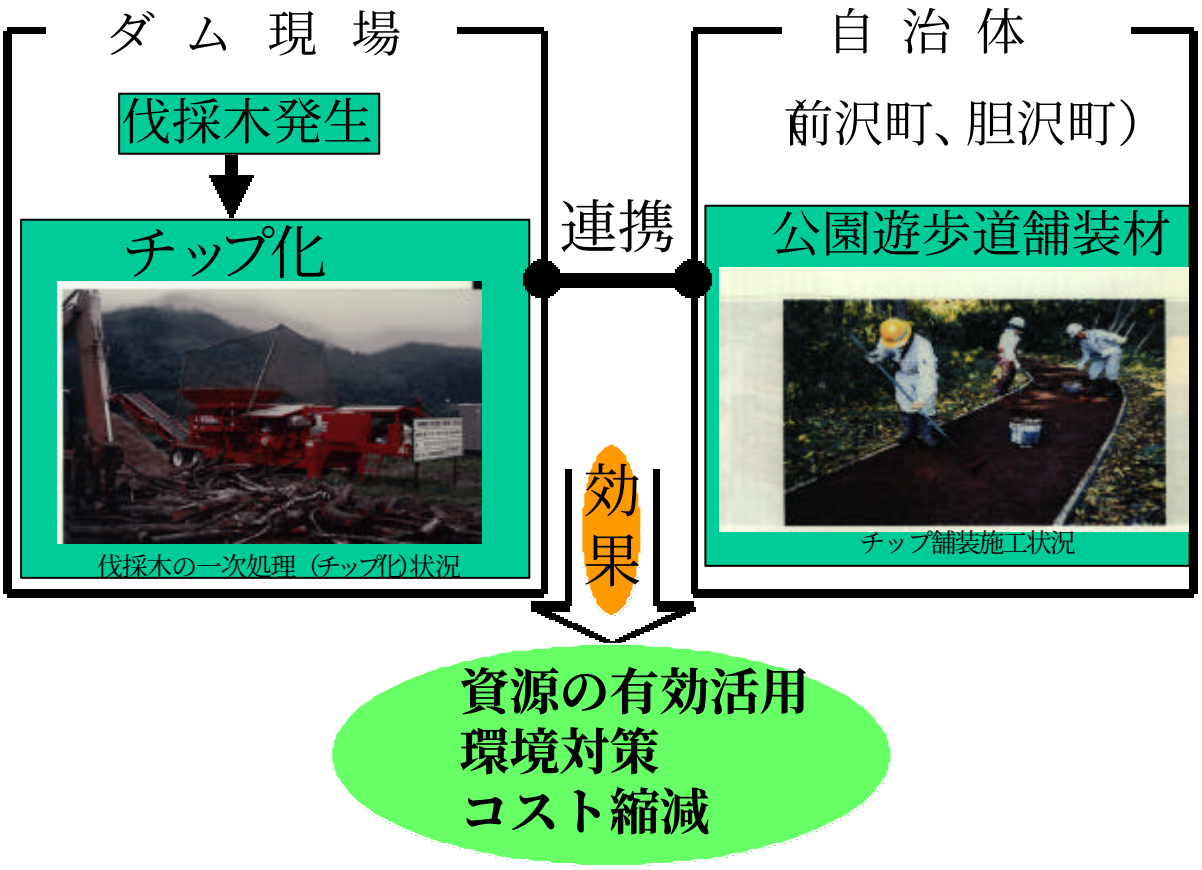
事　業　名	胆沢ダム建設事業　（岩手県胆沢郡胆沢町）
事　業　概　要	北上川水系胆沢川に昭和５８年度実施計画調査、昭和６３年度より建設事業を進めてきたもので、現在、仮排水トンネル（上段、下段）工事及び付替道路工事を実施中です。 平成１３年度には、新たに付替国道３号トンネルに着手しダムサイト迂回区間の平成１５年の供用開始を目指すとともに、引き続き仮排水トンネル工事の進捗を図ります。 平成１３年度末の進捗率は２４％となります。 工種等：仮排水トンネル工事、付替国道工事等

事　業　効　果

胆沢ダム建設に伴い発生する伐採木のリサイクルを推進。

胆沢ダム建設に伴い、今後約３０，０００㌧の伐採木が発生します。特に、原石山から一時期に約８，１００㌧が発生しますが、売却及び現場内循環のみでは対応が困難な状況にあります。このため、地元の自治体及び胆江地区の国の出先機関（農水省、林野庁）さらには岩手県と共同で伐採木リサイクルの調査・研究を行ってきたところです。
平成１３年度は、実際に前沢町や胆沢町と連携を図り、胆沢ダムの工事現場から発生する伐採木をチップ化し、公園の歩道舗装材料等に活用します。
このことにより、”資源の有効活用 ”” 工事のコスト縮減 ”が図られます。

自治体との連携による胆沢ダム伐採木活用イメージ



事業区分：河川、直轄事業　　施策分類：統合のメリット・事業間の連携

事　業　名	名取川閖上（ゆりあげ）築堤事業（国直轄事業） **閖上（ゆりあげ）漁港修築事業（補助事業）**　　宮城県名取市）【H13年度概成】
事業概要	名取川の流下能力は、広瀬川合流点上流及び広瀬川についてはほぼ計画規模を確保していますが、広瀬川合流点下流の特に河口部の無堤地区においては大幅に不足しており、閖上地区では近年15年間で4回の浸水被害を被っています。 このため、「閖上漁港修築事業（宮城県）」と連携し、名取川と閖上漁港を締め切る築堤を概成させ、浸水被害の解消を図ります。 ＜事業内容＞ 東北地方整備局　　締切堤設置 宮　城　県　　新航路開削
事業効果等	

事業実施による効果

項　　目	H5.8実績	事業完成後
浸水面積	25.6ha	0ha
浸水家屋	6戸	0戸

H5.8洪水による被害状況



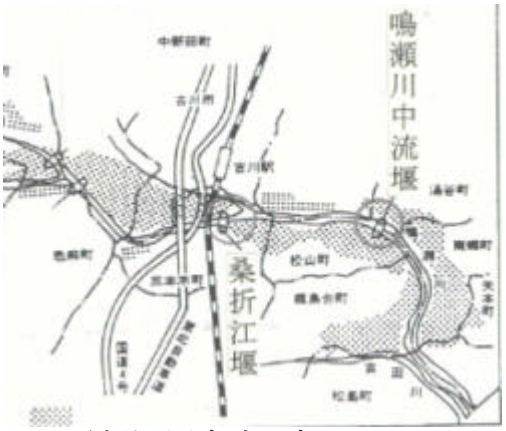


○水害常襲地帯となっている閖上地区の無堤部を国直轄・補助の連携により治水対策を実施し、浸水被害を解消します。

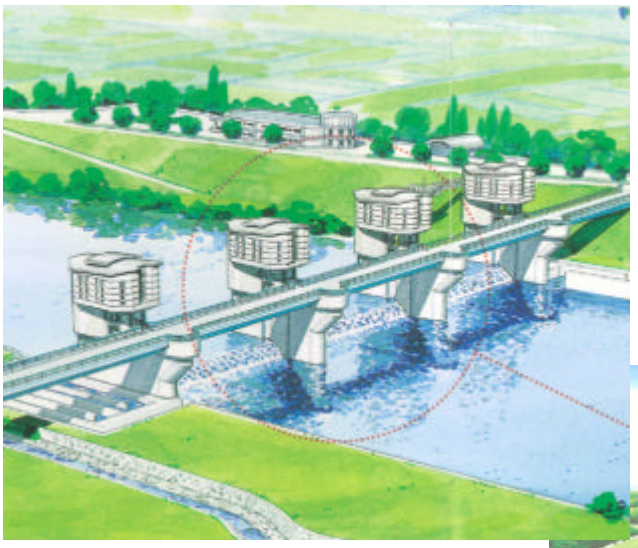
事業区分：河川、直轄事業　　施策分類：統合のメリット・事業間の連携

事　業　名	鳴瀬川中流堰（ちゅうりゅうぜき）及び桑折江堰（こうりえぜき）建設事業（宮城県小牛田町、三本木町） 【中流堰：H13年度概成予定、桑折江堰：H14年度概成予定】
事業概要	江合川から鳴瀬川への適正な分流を行うためには、鳴瀬川の河道掘削を行うとともに河床の安定化対策を実施する必要があります。しかし、河道掘削に伴い河川水位が低下し、取水不可能となる施設が発生することとなります。したがって、取水位を確保すると共に、河床の安定と流水の適正な管理を図るため、床固めを兼ねた可動堰の設置が必要となります。 この河道掘削の影響範囲は上流側の桑折江堰にも及ぶため鳴瀬川中流堰と桑折江堰とをセットで改築する必要があります。 一方、農林水産省の鳴瀬川地区かんがい排水事業が同時期であったため、共同事業として、鳴瀬川中流堰が平成9年度から、桑折江堰が平成10年度から実施しています。 平成13年度には、鳴瀬川中流堰を概成させ供用開始し、桑折江堰は平成14年度に概成させ供用を目指します。
事業効果等	**農林水産省との共同事業**

位置図



鳴瀬川中流堰完成予想図



桑折江堰完成予想図



○洪水時の水を安全に流し治水安全度を高めます。
○安定した農業用水を確保し、稲作農業の安定化に貢献します。
○川に必要な水を流し、河川環境の保全を図ります。

事業区分：下水道、補助事業　　施策分類：安全で安心できる地域づくり

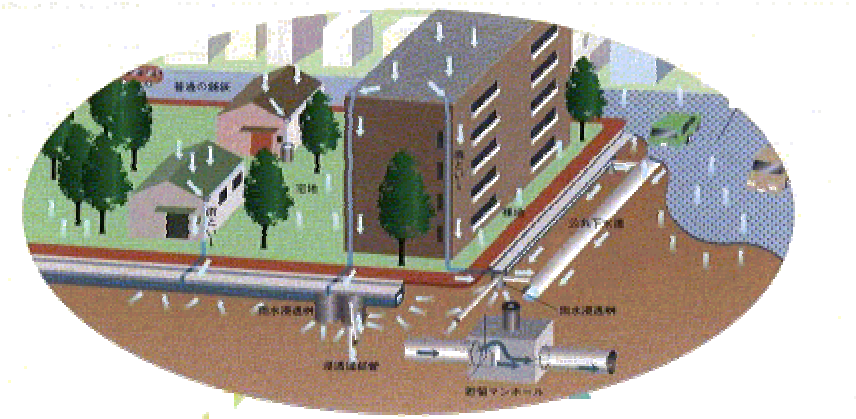
事　業　名	仙台市公共下水道事業（雨水対策）
事業概要	仙台市では、土地利用の高度化や市街地の拡大が進み、流域の保水機能や遊水機能が大幅に減少し、昭和６１年８月の「８．５豪雨」により大きな被害を受けました。 これを契機に、河川事業等と連携して総合的な治水計画を策定し、現在は１時間当り降雨量52㎜（１０年に１回程度発生する大雨）に対して浸水被害を解消することを目標に、雨水幹線、貯留管、雨水ポンプ場等雨水対策施設の整備を進めています。１３年度は、長町第１ポンプ場、中野第１号雨水幹線等をはじめとした施設の整備を継続するほか、貯留、浸透等の雨水流出抑制施設の整備も推進します。
事業効果等	

○ 市街地での浸水被害が軽減されます。
- 雨水幹線管渠やポンプ場の整備により、市街地に降った雨は速やかに河川等に排水され、多少の雨では道路などに水が溢れることがなくなります。


建設中の長町第１ポンプ場

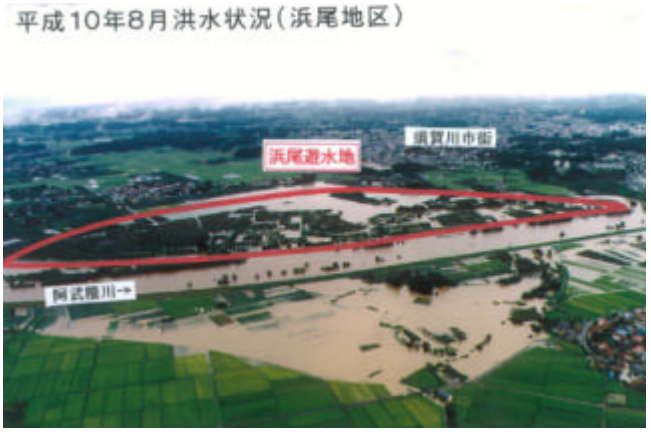

中野第１号雨水幹線

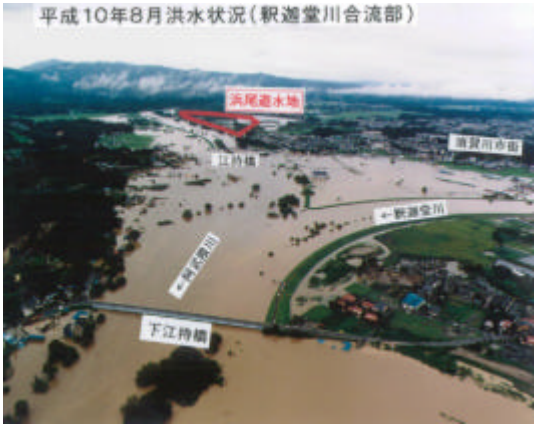
雨水流出抑制施設（雨水浸透）のイメージ



事業区分：河川、直轄事業　　施策分類：安全で安心できる地域づくり

事　業　名	阿武隈川上流（浜尾地区）床上浸水対策特別緊急事業 （福島県須賀川市）
事業概要	阿武隈川沿川は、平成10年8月末の計画高水位を越える洪水により、全半壊家屋240戸、浸水家屋3，781戸にのぼる甚大な被害に見舞われました。 阿武隈川ではS61年，H元年，H3年、H10年と頻繁に水害が発生していますが、堤防の未整備区間や堤防断面の不足さらには漏水等弱小堤防も多く残されており、ポンプ場などの内水排除施設の整備も遅れています。 そこで、阿武隈川の上流部に位置する浜尾地区に「床上浸水対策特別緊急事業」により遊水地を整備し下流部の水位の低減を図り、平成16年度完成を目指します。 ＜事業内容＞ 築堤L＝約1，560m　　周囲堤　L=約1，950m 平成13年度には、周囲堤に着手します。
事業効果等	**下流の洪水被害を軽減します**

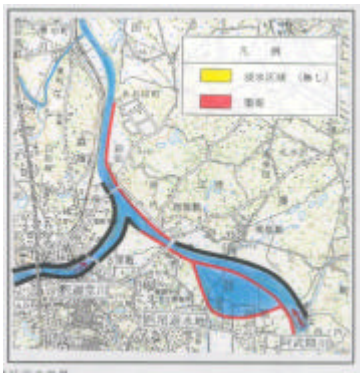




H10.8被害



床上浸水　　108戸



事業完了後

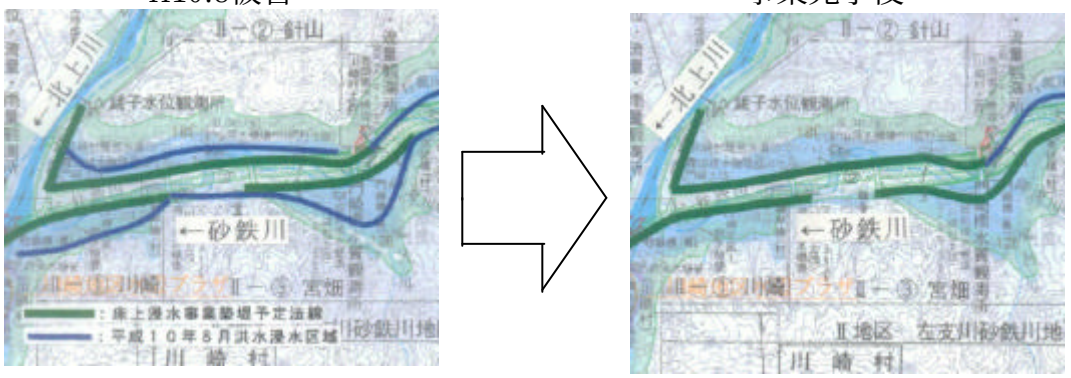
床上浸水　　0戸

事業区分：河川、直轄事業　　施策分類：安全で安心できる地域づくり

事　業　名	砂鉄川床上浸水対策特別緊急事業（岩手県川崎村）
事業概要	北上川支川砂鉄川は無堤部であることから、洪水時には本川の背水の影響により毎年のように洪水被害を受ける地区で水害の常襲地帯となっています。このようなことから平成１１年度から「床上浸水対策特別緊急事業」として短期的重点的な投資により抜本的な河川改修を進め平成15年度の完成を目指します。 ＜事業内容＞ 築堤L＝約7，530m　　橋梁　3橋　　樋管　6箇所 平成13年度には、橋梁3橋、樋管6箇所及び築堤等を継続推進します。
事業効果等	**床上浸水被害を解消します。**



H10.8被害　　事業完了後



床上浸水　24戸
総浸水（床上＋床下）72戸

床上浸水　0戸
総浸水　0戸

事業区分：河川、補助事業　　施策分類：安全で安心できる地域づくり

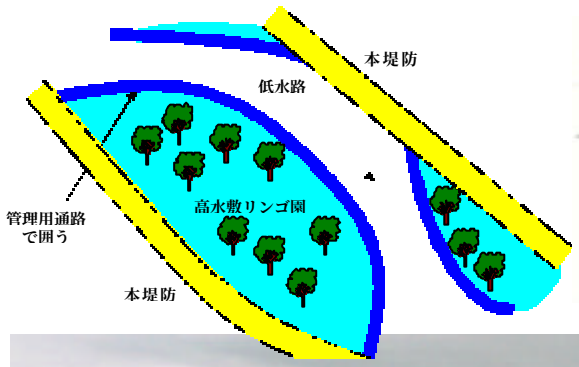
事 業 名	猪苗代湖統合河川整備事業（十六橋水門）（福島県猪苗代町） 【H13年度新規】
事業概要	猪苗代湖は一級河川の指定区間であるが、平成10年８月末の豪雨では湖水位が最高水位を超え、湖岸のバンガローや水田等が冠水する被害が発生した。 このため、再度災害を未然に防止するため、歴史的建造物に配慮しながら十六橋水門を改築します。 ＜事業内容＞　総事業費　２３億円、工期H13～H17、堰柱補強　１７基
事業効果	十六橋水門を改築し、冠水被害を軽減します。

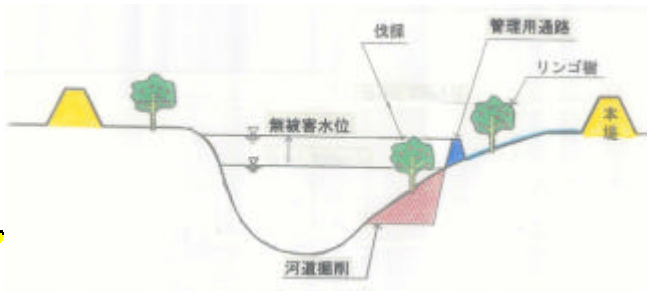


事業区分：河川、直轄事業　　施策分類：安全で安心できる地域づくり

事　業　名	**岩木川中流部改修事業（青森県弘前市）**　　【H13年度新規】
事業概要	岩木川中流部は、高水敷の約80%がリンゴ園として利用されており、地元の重要な産業となっている。 しかし、高水敷にあるリンゴ園は、出水のたびに冠水による被害を受けており、地元では河川改修によりリンゴ園の冠水頻度を下げ、被害を軽減するよう強い要望がある。 また、岩木川中流部は低水路河道が蛇行していることと、広大な高水敷とリンゴ園の高い粗度により、氾濫時には貯留効果が認められている。 このようなことから、中流部の河道内貯留効果の保全を図るとともに、リンゴ園の冠水被害の軽減を図るための対策について検討します。
事業効果等	**リンゴ園の冠水頻度を低減させ、リンゴ園の被害を軽減します。**

イメージ図







平成9年5月出水状況

事業区分：河川、直轄事業　　施策分類：安全で安心できる地域づくり

事　業　名	大久保頭首工改築事業（秋田県湯沢市、羽後町）　　【H13年度新規】
事業概要	雄物川上流では一部無堤箇所を除き堤防が概成しているが、明治以降に築造された「大久保」「幡多野弁天」「湯沢」「山田」の4基の頭首工が固定堰であるため、堰付近の流下能力が不足し中小規模の洪水でも堰上げにより堤防越水の恐れがあるため、地域住民より危険個所として問題提起されている。 4基の堰の中でもとりわけS62.8出水で堰上げにより、越水被害を生じる要因となった最下流の大久保頭首工の流下能力の向上を図るため平成13年度から新規に改築事業に着手します。 ＜事業内容等＞ 総工費　約36億円 工期　H13 ～ H17
事業効果等	**○堰の改築により、浸水被害を解消します。**

事業実施による効果

項　目	想定被害	完成後
浸水面積	125ha	0 ha
浸水家屋	92戸	0 戸

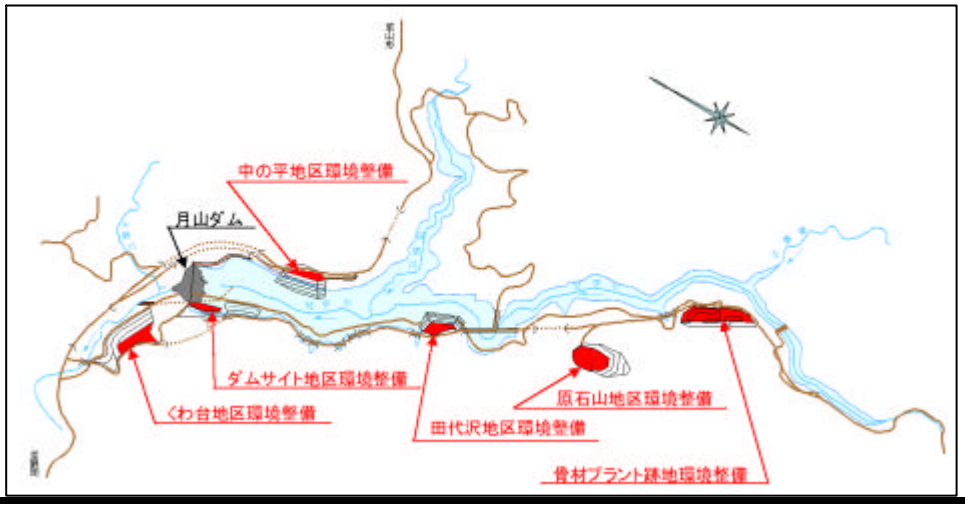
想定被害は当面計画流量1,600m3/sを前提としている
なお、近年浸水被害が生じたS62.8洪水の浸水被害
（浸水面積90ha、浸水家屋45戸）は解消されます。







事業区分：ダム、直轄事業　　施策分類：安全で安心できる地域づくり

事　業　名	月山ダム建設事業　（山形県東田川郡朝日村）【H13年度完成予定】
事　業　概　要	赤川水系梵字川に昭和５１年度実施計画調査、昭和５６年度より建設事業を進めてきたもので、昨年１０月より試験湛水を実施中。 今後試験湛水が順調に終了すると、平成１３年度にはダム周辺環境整備工事等を完了させ、工期を１年短縮しての事業完了が見込めることとなります 平成１３年度実施工事 環境整備工(ﾀﾞﾑｻｲﾄ地区、原石山地区、くわ台地区、中の平地区等) 

事　業　効　果

赤川の浸水被害の軽減を図ります
○ダム地点で１，９００m³/sの洪水調節により、ダム下流の浸水被害の軽減を図ります。

既得用水の安定化及び河川環境の保全等のための流量を確保します。
○ダム下流の約13,200haのかんがい用水を安定的に取水できるようにするほか、渇水時等に無水区間となる熊出地点（赤川頭首工下流）に対して２m³/sを補給し、河川環境の保全等を図ります。

安定した水道用水を供給します
○庄内南部広域水道（１市７町）に対して、１日最大118,000㎥の水道用水が供給可能となり、渇水時においても安定した水道水源となります。

環境負荷の少ない水力発電を行います
○月山発電所において最大出力
８，８００kWの発電を行います。



平成13年度の事業完了を目指す月山ダム

事業区分：ダム、直轄事業　　施策分類：安全で安心できる地域づくり

事　業　名	森吉山ダム建設事業 （秋田県北秋田郡森吉町）【H13年度本体着手】
事　業　概　要	米代川水系阿仁川右支川小又川に昭和４８年度実施計画調査、昭和６１年度より建設事業を進めてきたもので、現在、下段仮排水路トンネル及び付替道路工事を実施中であり、平成１３年度は付替県道工事の進捗を図るとともに**新たに本体基礎掘削工事、上段仮排水路トンネル**に着手します。 平成１３年度末の事業進捗率は４５％となります。 （工期：平成23年度） 平成１３年度実施工事 本体関連工事：(本体基礎掘削工事、仮排水路トンネル等) 付替県道工事：(２号橋上・下部工、鷲ノ瀬トンネル等)

事　業　効　果

米代川の浸水被害の軽減を図ります

○ダム地点で２，２００m³/sの洪水調節により、ダム下流の浸水被害の軽減を図ります。

・森吉山ダムが完成すると、昭和４７年７月に発生した米代川の既往最大洪水のケースで、二ツ井地点における流量を約４４０m³/s、水位を約２３㎝低減することができます。

（昭和４７年７月洪水における森吉山ダムの浸水被害低減効果）

	森吉山ダム完成前	森吉山ダム完成後	森吉山ダム効果
浸　水　戸　数	約９，３５０戸	約６，０５０戸	約３，３００戸
農地冠水面積	約４，２１０ha	約３，０６０ha	約１，１５０ha

既得用水の安定化及び河川環境の保全等のための流量を確保します。

○小又川のダム直下で３．０m³/s、阿仁川米内沢地点で９．０m³/sを安定的に確保することにより、既得用水の安定化及び河川環境等の保全を図ります。

安定した農業用水を供給します

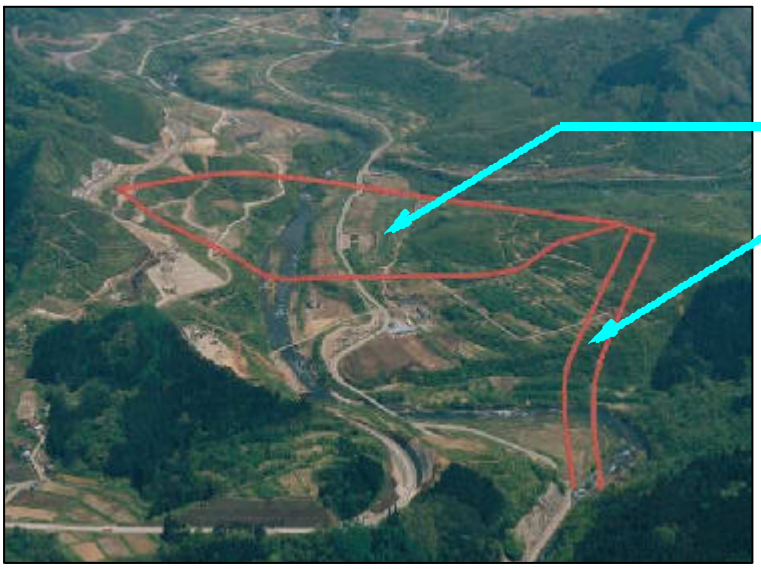
○森吉山ダムを水源とする大野台地区２００haに対して、安定したかんがい用水を補給します。

安定した水道用水を供給します

○地下水低下及び水量の減少、水質の悪化が発生している森吉町と合川町に１日最大９，５００m³の水道用水が供給可能となり、安定した水源となります。

環境負荷の少ない水力発電を行います

○森吉発電所の建設により、最大出力１０，６００kwの発電を行います。



平成13年度の本体工事着工を目指す森吉山ダム

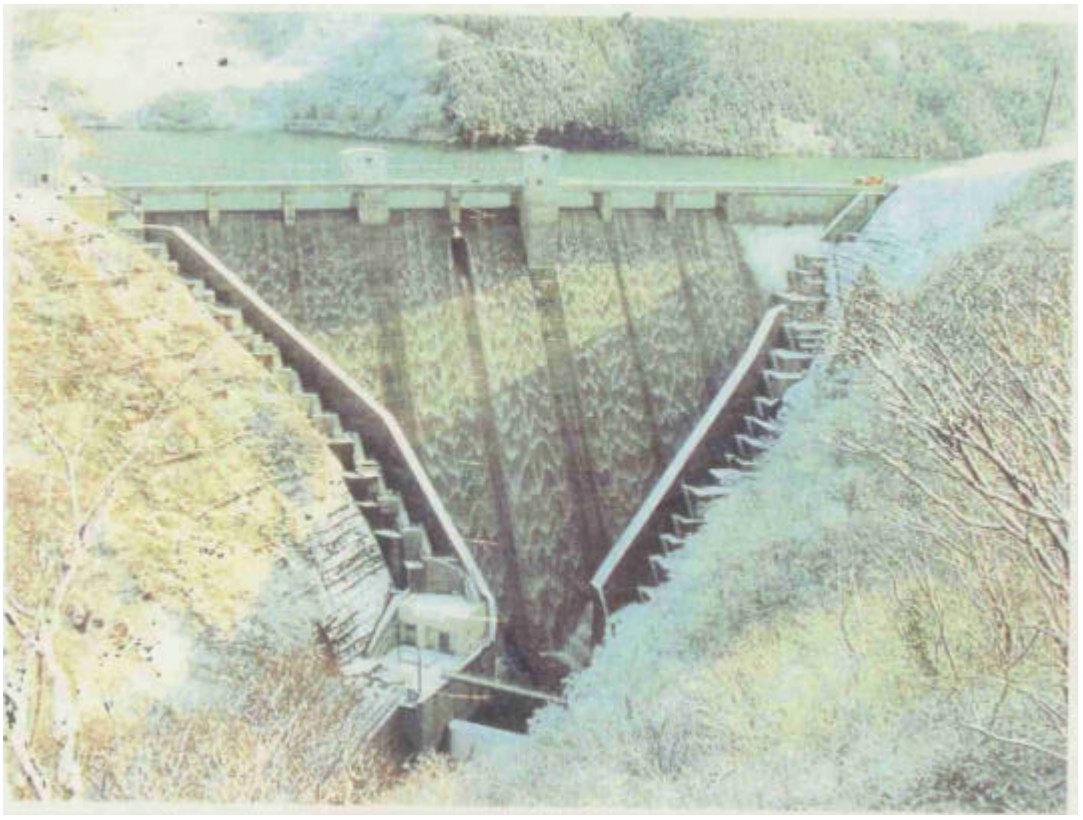
事業区分：ダム、補助事業　　施策分類：安全で安心できる地域づくり

事 業 名	田沢川ダム建設事業（山形県飽海郡平田町）　【H13年度完成予定】
事業概要	最上川水系田沢川に昭和５６年度実施計画調査、昭和６１年度より建設事業を進めてきました。平成１２年１０月から試験湛水を開始し、平成１３年２月に無事終了しました。 平成１３年度は、管理所周辺の環境整備を実施し、完成の予定です。 工種等：周辺整備、管理設備機器調整等
事業効果	

田沢川の浸水被害の軽減を図ります
○ダム地点で２００m^3/sの洪水調節により、ダム下流の浸水被害の軽減を図ります。

河川の正常な流水を確保します
○下流の既得用水の補給等、流水の正常な機能の維持と増進を図ります。

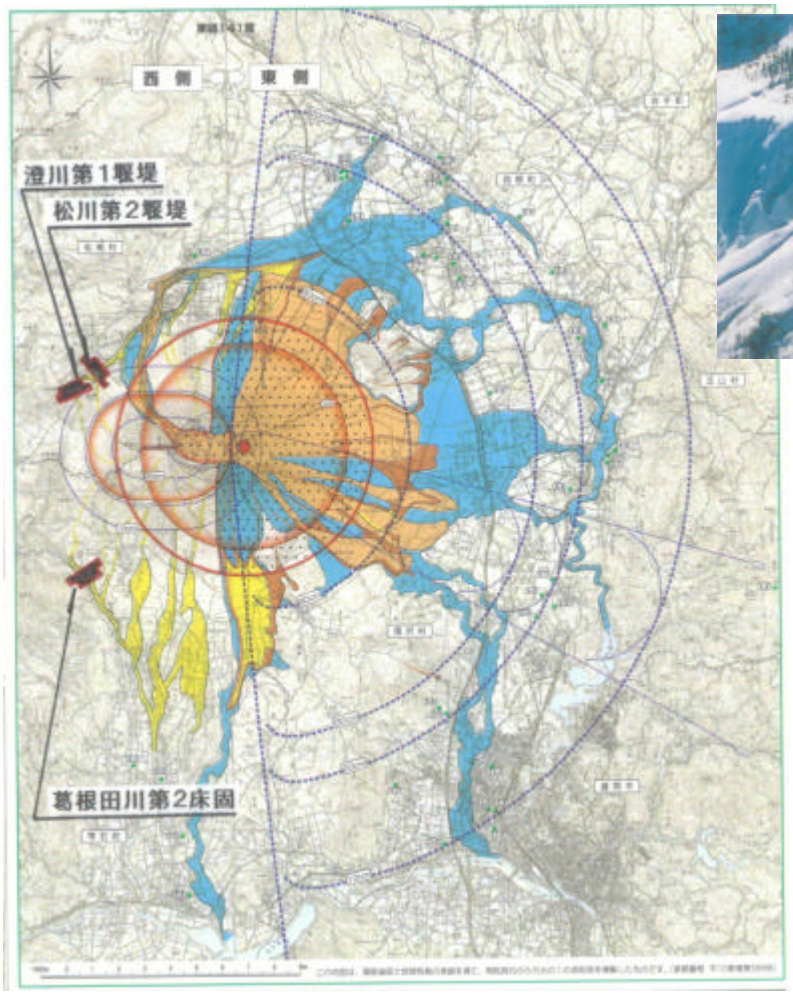
安定した水道用水を供給します
○酒田市、平田町、松山町（一日最大３３，７００m^3）に対して、渇水時においても安定した水道用水を供給します。



試験湛水中の田沢川ダム

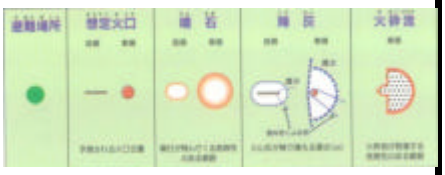
事業区分：砂防、直轄事業　　施策分類：安全で安心できる地域づくり

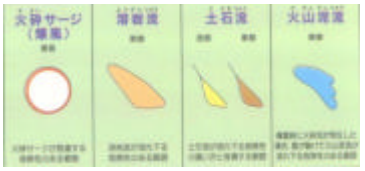
事　業　名	八幡平山系直轄砂防事業［岩手山火山土石流対策］ （岩手県雫石町、松尾村）
事業概要	岩手山は平成１０年３月から火山性地震が多発しはじめ、現在も西側で水蒸気爆発の発生が懸念されるなど、活発な火山活動を継続しています。このため、噴火に伴う土石流や火山泥流の発生に際し、迅速的確な警戒避難体制を確立できるよう、監視観測情報の収集伝達の充実を図るため光ファイバー網等情報基盤整備を実施してきました。 一方、噴火に伴う被害想定では、降灰後の降雨により土石流が発生する渓流が４０渓流あるとされており、平成１１年６月までにこれら渓流における砂防施設の配置計画を策定し、活動が活発な西岩手山を源流とする渓流の施設整備を進めています。 平成１３年度は、澄川・松川及び葛根田川において砂防堰堤２箇所、床固工１箇所の施設整備の促進を図ります。
事業効果等	岩手山の噴火に伴う土石流被害の防止軽減を図ります。





西岩手山の噴気活動状況





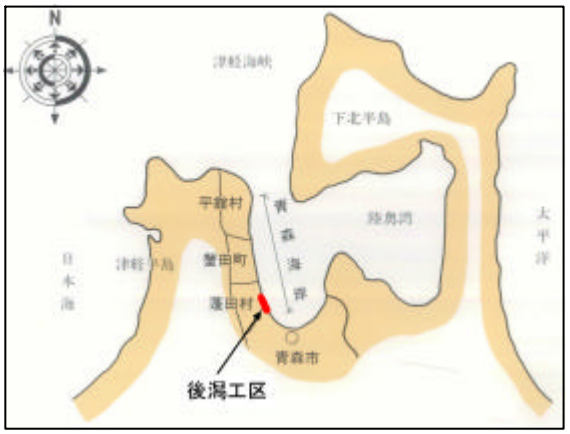
岩手山火山防災マップ及び平成１３年度実施箇所

事業区分：海岸、直轄事業　　施策分類：安全で安心できる地域づくり

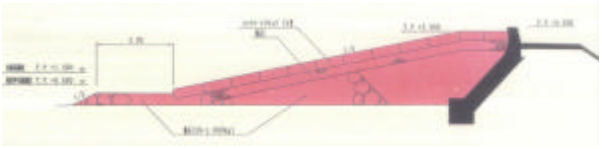
事　業　名	青森海岸保全施設整備事業 （青森県蓬田村）
事業概要	青森海岸は冬季の波浪などにより古くから海岸侵食や越波等による浸水被害が多発していたため、直轄事業により堤防や消波施設の整備が進められ被害の防止軽減等その効果が発揮されています。 しかし、一部においては海底地形の変化などにより、波浪や高潮時に波が打ち上げて既設堤防を越える状況が生じています。 このため、同海岸における事業概成を目指し、波の打ち上げを低減させ越波被害を防止する追加対策施設の整備を促進しています。 平成１３年度は、緩傾斜堤防２６０m及び消波工１３０mの整備を実施し、後潟工区（蓬田村）までの事業を完了させます。
事業効果等	＊波浪、高潮等による越波被害の防止軽減を図ります。



直立堤区間における越波状況



青森海岸位置図



緩傾斜堤防構造図



緩傾斜堤の打上げ高低減効果
※緩傾斜堤施工済の手前側は打上げ高が抑えられている

事業区分：海岸、補助事業　　施策分類：安全で安心できる地域づくり

事 業 名	三沢海岸侵食対策事業（青森県三沢市）
事業概要	当海岸は三沢市の南東部に位置し太平洋に面した海岸です。ヤマセと呼ばれる偏東風や台風等の風浪による浸食が著しく、背後地の１，５６０名の生活と、下北半島へ通ずる基幹道路であり地域の生活道路でもある国道３３８号の安全を確保するため、抜本的な侵食対策としてヘッドランド１３基を計画し、平成３年度よりヘッドランドに着手しました。 平成１２年度までに１１基（暫定）を完了しており、平成１３年度は引き続き１２基めに着手します。 ＜事業内容＞ 総事業費 約８６億円、工期S54～H27、ヘッドランド 13基
事業効果	安全で安心して生活が営める地域づくりを図ります。

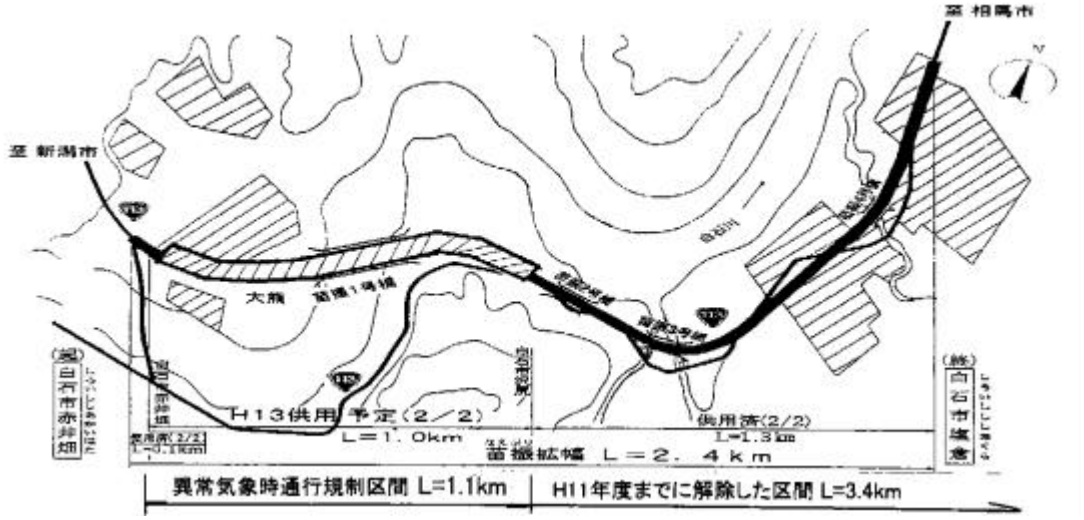


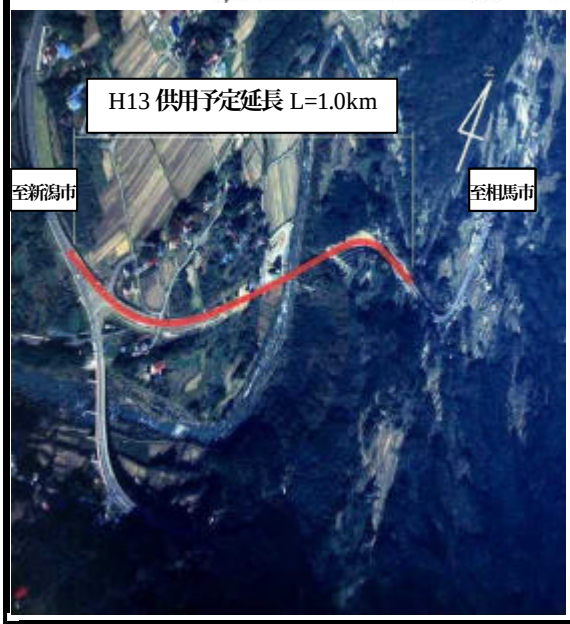
事業区分：道路、補助事業　　施策分類：安全で安心できる地域づくり

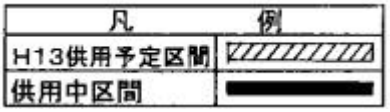
事　業　名	113号　苗振（なえぶり）拡幅（白石市）
事業概要	苗振拡幅は、白石市の一般国道113号における幅員狭小、線形不良区間を解消するため、延長約2．4km区間で改築を実施しており、一部区間については既に供用中ですが、平成13年度で全線の完成供用予定です。
事業効果等	**異常気象時通行規制区間の解消が図られます**

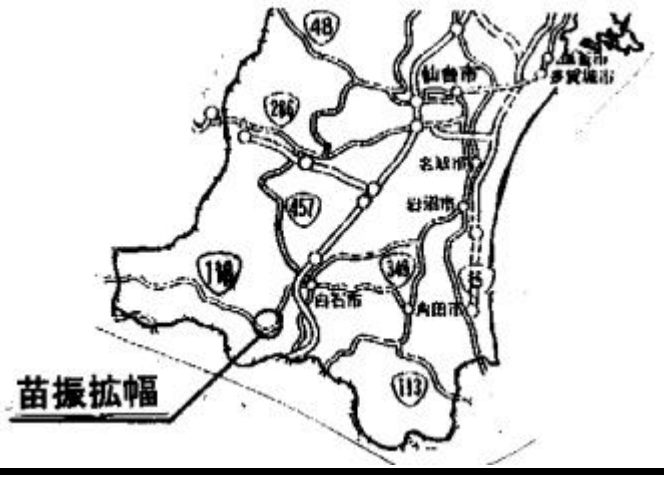
・平成13年度の完成供用により、幅員狭小、線形不良の改善とともに、事業区間内に存在する異常気象時（連続雨量120mm、時間雨量30mm）通行規制区間（延長約1．1km）の解消が図られ、安全で円滑な交通が確保されます。

（平成１１年度までに供用した区間と合わせ4.5ｋｍの通行規制区間が解消）









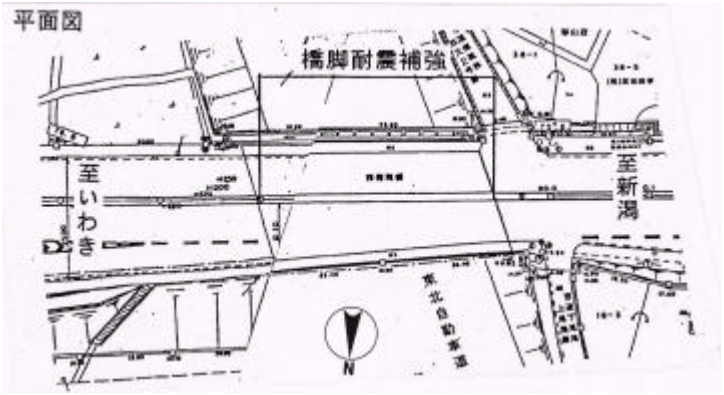
事業区分：道路、直轄事業　　施策分類：安全で安心できる地域づくり

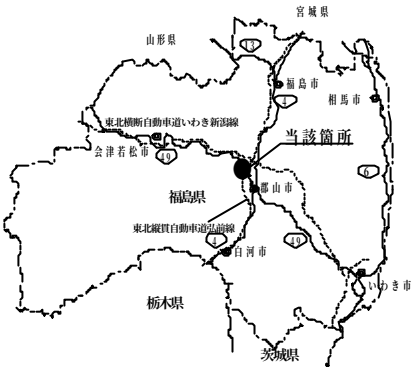
事　業　名	西権現橋（にしごんげんばし）橋梁耐震補強事業
事 業 概 要	平成８・９年度に実施した道路防災総点検（地震）に基づき、橋梁の耐震性の向上を図る必要のある橋梁のうち、跨道橋、跨線橋等の二次災害発生のおそれのある橋梁を優先的に耐震補強対策を推進します。
事業効果等	整備箇所：一般国道４９号福島県郡山市富田町権現林地内（西権現橋）

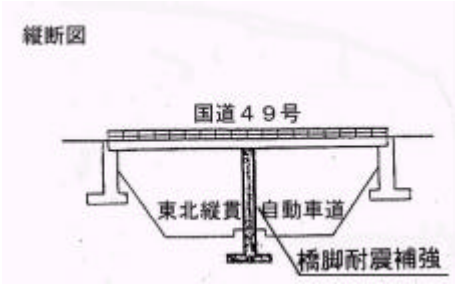
○事業概要

国道４９号は太平洋と日本海を結ぶ重要な路線であり、災害時には支援物資等の輸送を受け持つ幹線道路として期待されています。

そのため、郡山市富田町権現林地内にある東北縦貫自動車道を跨ぐ西権現橋において、平成１３年度、橋脚の鋼板巻立て等による耐震補強を実施し、完成を図ります。







現況写真

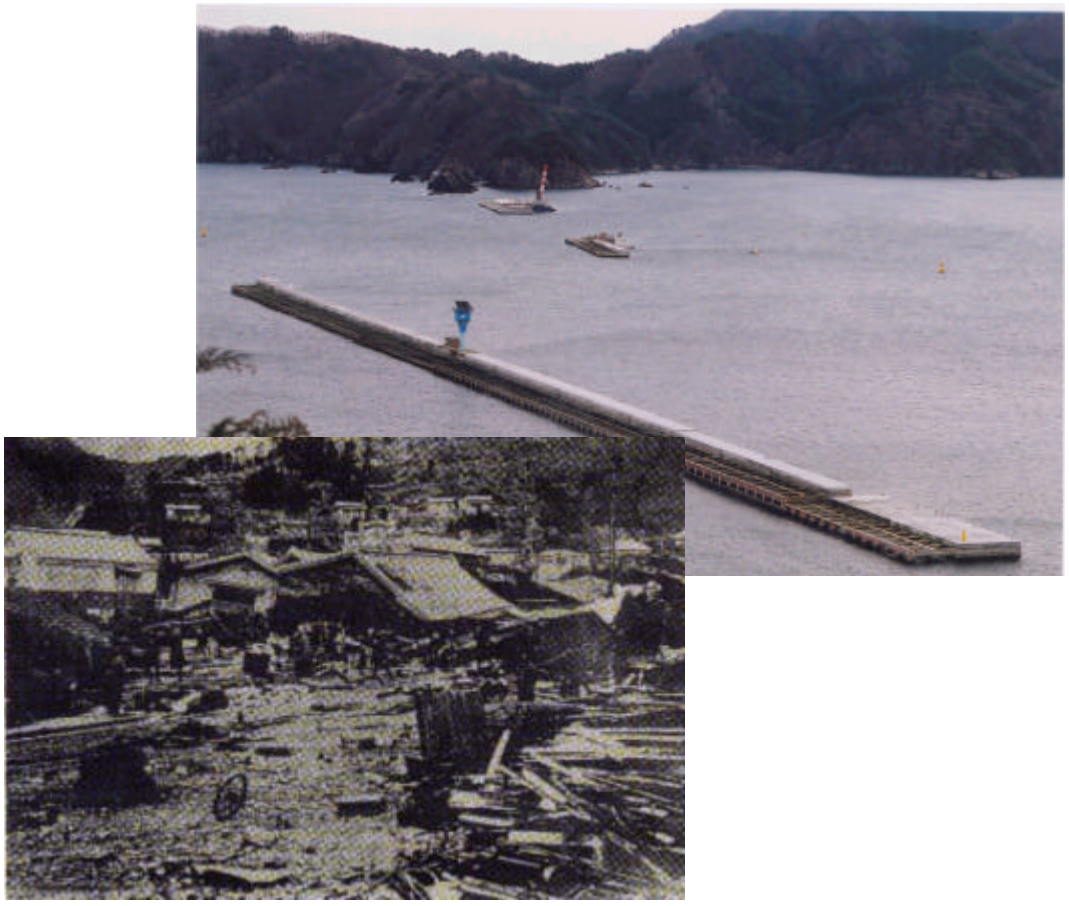


事業区分：港湾、直轄事業　　施策分類：安全で安心できる地域づくり

事　業　名	釜石港　湾口防波堤
事業概要	釜石港はリアス式海岸である三陸沿岸に位置し、津波に対して被害を受けやすい地形となっており、過去数度の津波被害を受けるなど、人命・財産を守るために恒久的津波対策として、湾口防波堤整備が進められています。
事業効果等	釜石港の津波対策は、湾口防波堤と既存の防潮堤により計画されており、湾口防波堤を設けることによって、港内水位を既存防潮堤天端高（Ｔ．Ｐ＋４．０ｍ）以下にすることができます。 また、湾口防波堤を整備することにより、湾内の静穏水域は拡大され水産業の発展に寄与するとともに、安全水域が確保され、湾内の荷役稼働率も向上します。

津波被害状況

津　波　名	被害前戸数	流失戸数	被害前人口	死亡人員
明治２９年三陸地震津波来襲時　T.P+8.76m	1,105	811	6,986	3,765
昭和　８年三陸地震津波来襲時　T.P+5.26m	4,742	188	―	38



写真提供：釜石市立郷土資料室

事業区分：港湾、直轄事業　　施策分類：安全で安心できる地域づくり

事　業　名	青森港　本港地区
事 業 概 要	大型客船を用いた観光需要の増加への対応や災害時の緊急輸送・物流機能の確保に備え、本港地区において、旅客船対応の水深－10mの耐震強化岸壁を整備しています。
事業効果等	

・3万ﾄﾝ級の大型旅客船が接岸可能となり、クルージング需要への増加に対応します。

・青森港の背後圏10km圏内を対象に、被災した物流機能が復旧するまでの間、最小限の物流機能を保持することが可能となります。



平成14年度供用を目指して整備中の青森港本港地区岸壁



本港地区の完成予想図

事業区分：河川、直轄事業　　施策分類：強い東北の創造

事　業　名	**阿武隈川狭窄部光ファイバー整備事業（宮城県丸森町等）**
事業概要	阿武隈川県境狭窄部は、河川と背後の山地に囲まれる狭隘な地形となっており、水害の常襲地帯となっています。 洪水時には、生活道路も浸水することから孤立する家屋も多く、早急な治水対策はもとより、出水時の情報提供と避難誘導システムの確立が急務となっています。 このため、狭窄部地域において光ファイバーを整備し、河川管理施設の遠隔化による河川管理の効率化・高度化を図ると共に、上流域の雨量、水位情報、河川画像等迅速かつ確かな災害情報を流域自治体へ提供し、円滑な避難活動等、危機管理体制の強化を図ります。
事業効果等	

H10.8浸水による人的被害の軽減

阿武隈川　孤立地区6箇所、孤立家屋39棟、浸水家屋　9棟

出水情報の提供により迅速な避難が可能となり、洪水による人的被害が軽減されます。

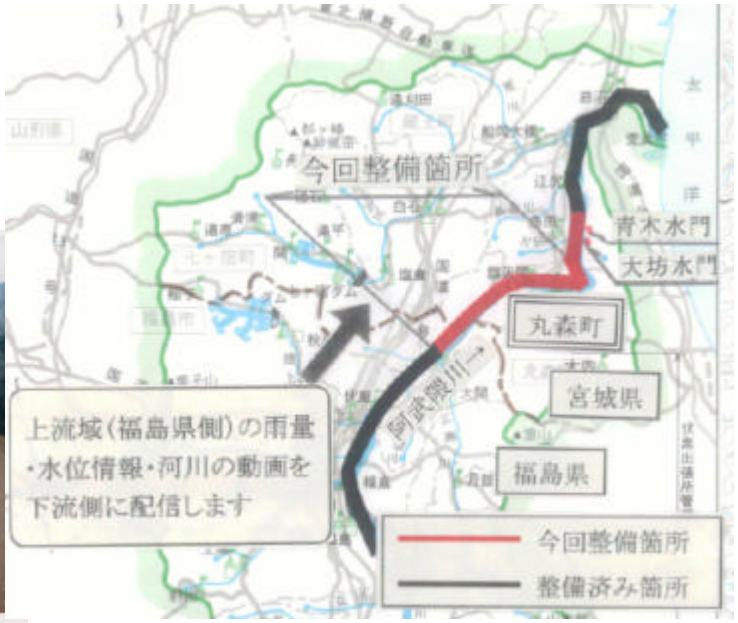
丸森町等の流域自治体と連携を図り、上流域の雨量・水位情報・河川の動画を各家庭へ配信します

青木水門、大坊水門（角田市）の遠隔化を図ります





出水時状況写真（H10．8洪水）

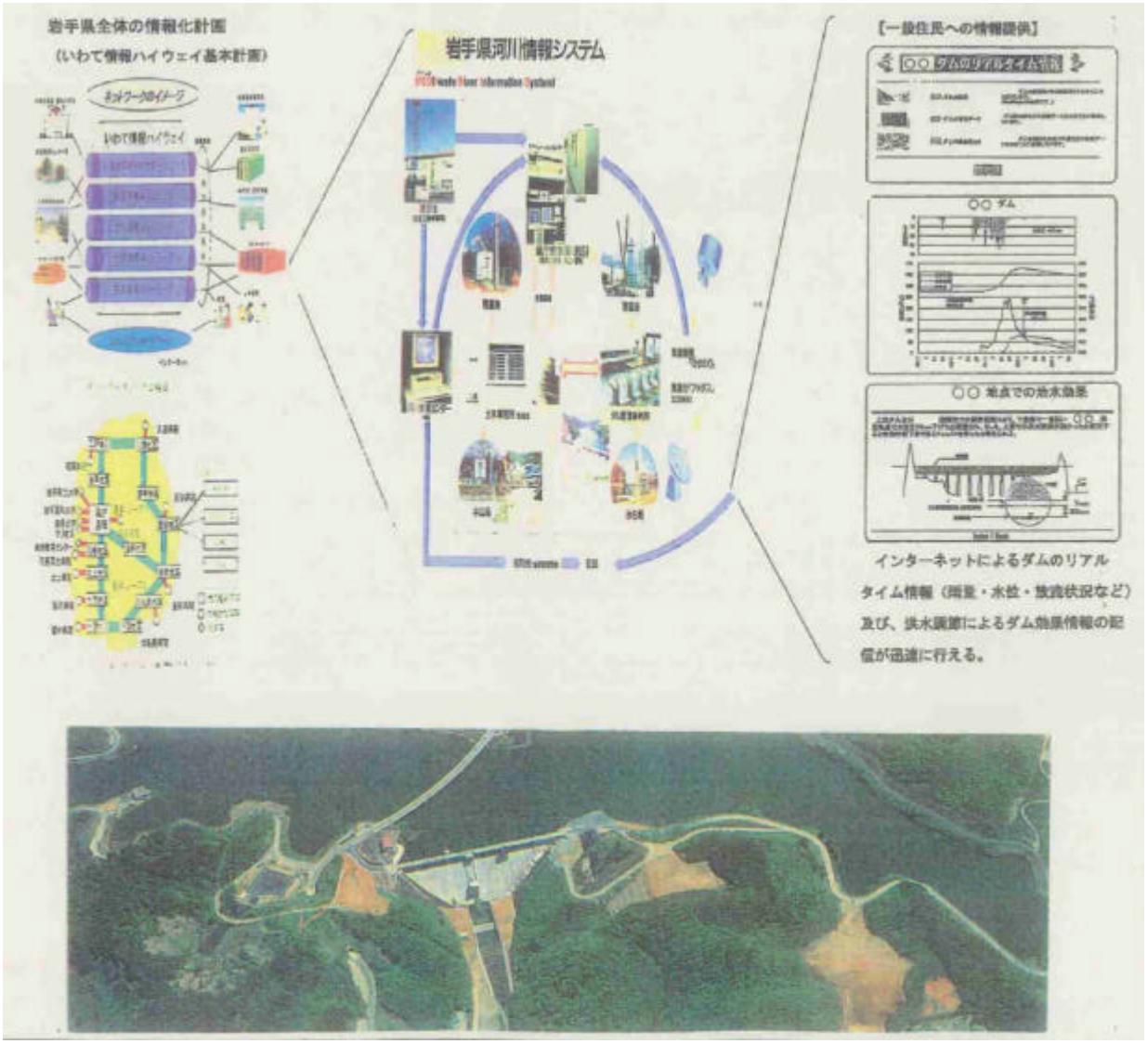


位　置　図

事業区分：ダム、補助事業　　施策分類：強い東北の創造

事 業 名	綱取ダム情報基盤緊急整備事業（岩手県盛岡市）【Ｈ１３年度新規】
事業概要	ＩＴを活用し迅速かつ効率的なダム管理が行えるよう、ダム処理装置および情報伝達装置等の更新を行うとともに情報化に対応した機器の整備を行います。 <事業内容等> 総事業費　約４８５百万円　　工期　平成１３年度～平成１４年度 ダム処理装置更新　１式　　情報伝送処理装置等更新　１式 テレメータ、放流警報装置更新　１式
事業効果	

○　システムの更新により岩手県河川情報システムへの情報伝送が可能となり、将来的には、一般住民へのダム情報の提供などにも対応できるシステムとなります。
○　ＩＴを活用した機器を整備することにより迅速かつ効率的ダム管理が可能となります。



事業区分：道路、直轄事業　　施策分類：強い東北の創造

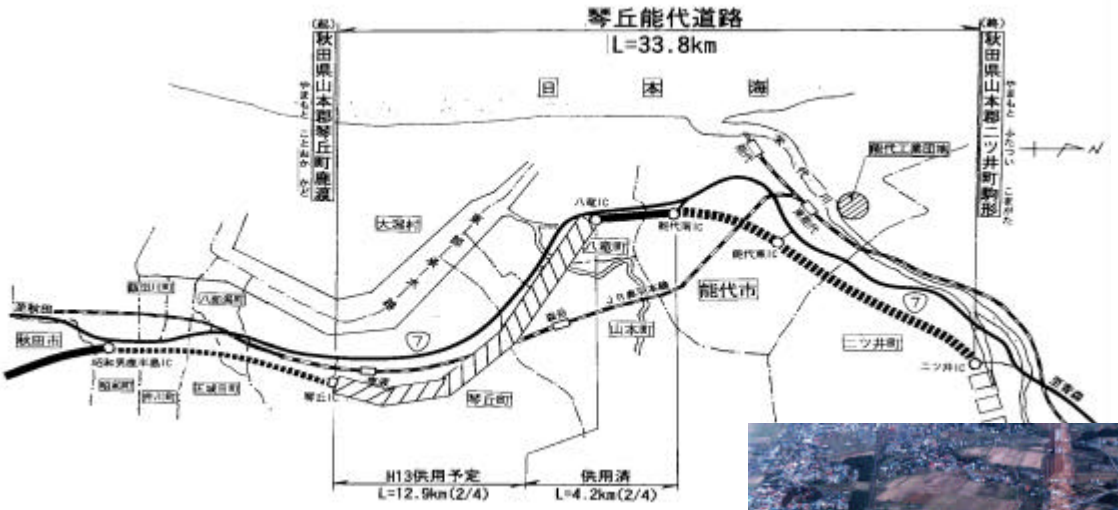
事　業　名	秋田7号　琴丘能代道路 【日本海沿岸東北自動車道】　　（H13部分暫定供用）
事業概要	琴丘能代道路は、日本海沿岸東北自動車道の一部を構成する秋田県山本郡琴丘町から同郡二ツ井町に至る延長33．8kmの一般国道の自動車専用道路であり、平成4年度までに八竜ICから能代南ICまで延長4．2kmについて供用を図っています。 平成13年度は琴丘ICから八竜IC間延長12．9kmについて2車線暫定供用を図ります。
事業効果等	

冬期交通の信頼性向上が図られます

・当該区間の国道7号は、道路幅員が狭小で冬期においては運搬排雪を必要とする区間が存在しています。琴丘能代道路の整備により、現道の運搬排雪区間を通過することなく交通が確保されることとなり、冬期交通の信頼性向上が図られます。

救急医療活動を支援します

・能代市では、脳卒中、心筋梗塞、頭部外傷等の重篤な患者に対する24時間体制での救急活動は秋田市に依存している状況です。琴丘能代道路の整備により、能代市と秋田市との所要時間の短縮（約80分が約60分に。20分短縮）が図られ、これらの救急活動を支援します。





H13供用に向け工事の進む琴丘能代道路

事業区分 :道路、補助事業　　施策分類 :強い東北の創造

事　業　名	秋田105号　**岩谷道路（秋田県由利郡大内町）** **【本荘大曲道路】（Ｈ１３新規事業化箇所）**
事業概要	本荘大曲道路は、本荘由利地域と大曲市を相互に連絡し、日本海沿岸東北自動車道と一体となって、広域交流を促進する延長約50kmの地域高規格道路です。岩谷道路は、本荘大曲道路の一部を構成する延長約1．6kmの４車線道路です。

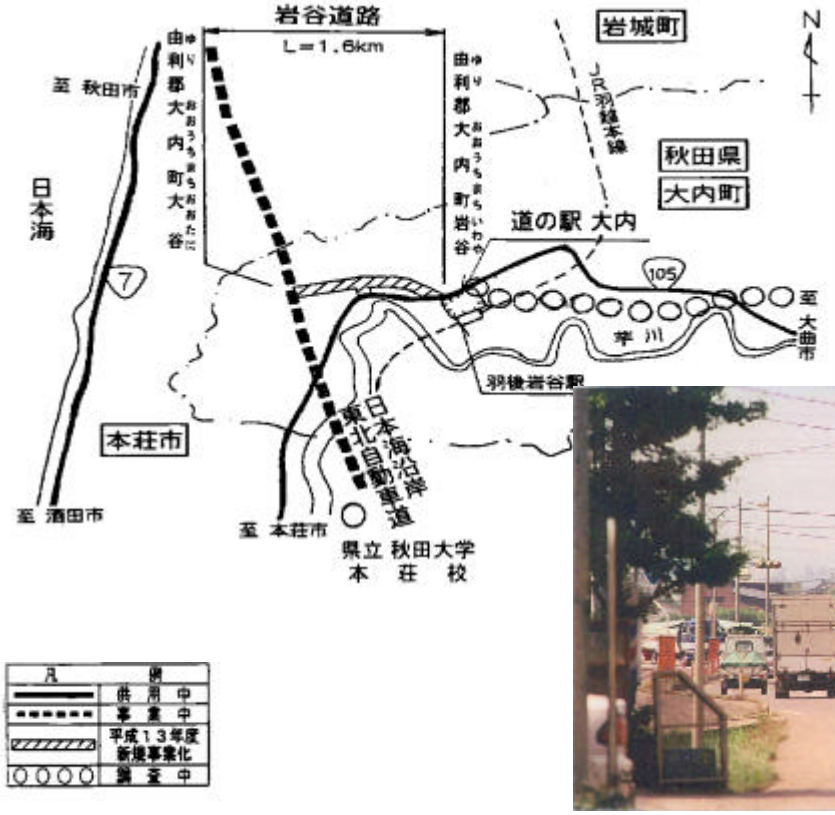
事業効果等

渋滞の緩和、災害時の代替路が確保できます。

・岩谷道路は、一般国道105号大内町内（本荘中心市街地へ至る区間）の交通混雑の緩和を図るとともに、日本海沿岸東北自動車道と連携して災害時の緊急輸送路を確保できるなど、広域幹線道路としての機能が確保され、安全で信頼性の高いネットワークが確保されます。

地域の活性化を支援します。

・岩谷道路が整備され、日本海沿岸自動車道からのアクセスが改善されることにより、秋田県立大学本荘校（システム科学技術学部）などの地域のプロジェクトを支援することで、地域としての競争力が向上し、本荘由利地域の活性化に大きく寄与することが期待されます。



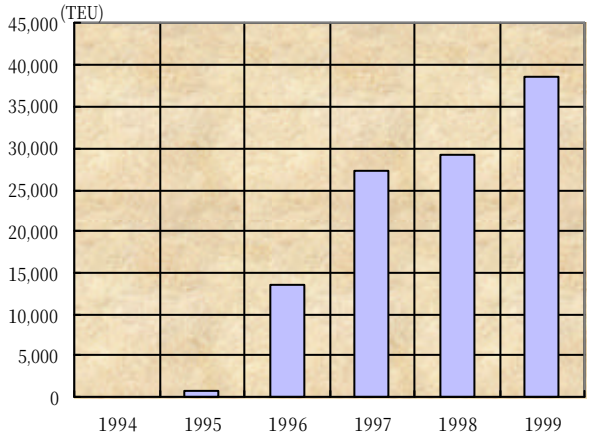


事業区分 :港湾、直轄事業　　施策分類 :強い東北の創造

事　業　名	仙台塩釜港　国際海上コンテナターミナル
事 業 概 要	国際海上輸送におけるコンテナ化の進展に併せ水深－12mコンテナ岸壁が平成7年に供用開始。更に水深－14mコンテナ岸壁（耐震強化）の平成13年度供用を目指して整備が進められています。また、4月からは東北唯一の特定重要港湾に昇格し、更なる発展が期待されます。
事業効果等	・現在、北米・東南アジアなどの国際海上コンテナ航路が就航しており、東北全域の国際海上輸送の拠点として、中核国際港湾に位置づけられています。4月から全国22番目の特定重要港湾に昇格し、東北地方の産業・経済の自立と東北の海の玄関として、更に重要な役割を果たすこととなります。また、特定重要港湾に昇格することにより、国の直轄事業における国庫負担率の一部が5.5／10から2／3に上がり、事業の効率的かつ迅速な実施も可能となります。 ・国際海上コンテナターミナルを仙台東部道路、仙台南部道路などと連携し整備拡充（東北初の－14m岸壁の供用）することにより、東京湾へ陸送されているコンテナ貨物をより多く仙台塩釜港で取り扱うことが可能となり、東北地方の産業競争力の増強に寄与します。 ・併せて、大規模地震災害に強い港湾システムが構築されます。



仙台塩釜港　高砂コンテナターミナル



高い伸びを示す仙台塩釜港の外貿コンテナ

事業区分：港湾、直轄事業　　**施策分類：強い東北の創造**

事　業　名	酒田港　北港地区
事 業 概 要	多目的ターミナル機能に加え、震災時に緊急物資・人員の輸送の確保のため、北港地区に水深 －10m(暫定水深－7.5m)の耐震強化岸壁が平成13年度に概成します。
事業効果等	

・山形県地域防災計画（H11策定）に位置づけられている耐震強化岸壁が、山形県内で初めて整備されます。

・大規模地震で背後地域が被害を受けた場合、全国からの緊急物資の海上受け入れや住民の緊急避難等を支援します。



日本海中部地震(S58)による岸壁の被災例



防災拠点のイメージ図